

「令和7年度 国際色豊かな伊香保シンポジウム開催」

～ ～ ドイツ ニュルンベルク市スポーツ指導者と共に学びました ～ ～



11月3日(月・祝日)・4日(火) 伊香保 塚越屋七兵衛を会場に、第3回伊香保シンポジウムを、ドイツ ニュルンベルク市スポーツ指導者9人と、毎年講師としてお迎えしている松田先生、中西先生、中阪町長と小出総括コーディネーターを中心に開催しました。基調講演としてニュルンベルク市スポーツ指導者のエンダー氏から「バイエルン州の全日制学校とスポーツ — 機会と課題」と題して話をいただき、次いで、松田先生から「体育授業・生徒会改革と地域クラブの育成～部活動の地域展開のゴール～」と題して基調講演がありました。また、日本スポーツ協会の金谷部長から「日本スポーツ協会の動向と部活動地域展開の現状」について情報提供がありました。

【その後の意見交換会で最も印象に残った言葉として】

「ドイツのスポーツクラブはスポーツ好きが集まってクラブを設立するけれど、日本は誰かに作れと言われて設立しているように感じる。」(ドイツ ニュルンベルク市スポーツ指導者より)



2日目のシンポジウムは、中西先生をコーディネーターとして中阪町長、金谷部長、小出総括コーディネーターをパネリストとして開催しました。その後、ドイツメンバーを加えてグループワークも行いました。通訳のバドラー明日香さんと、スマートフォンの翻訳機能が活躍してくれて充実したグループワークになりました。



【第三弾 先進地視察 ～運営団体について学ぶために～】

11月10日(月)～12日(水) 北海道安平町のアビススポーツクラブ、早来学園、岩見沢市 SLDI スポーツクラブ、北海道教育大学岩見沢キャンパス、最後に北海道スポーツ協会を訪問して視察しました。

今回の視察研修会は、県内教育事務所に勤務する指導主事3名と、小出総括コーディネーター、平林コーディネーター、小野里コーディネーター、田島コーディネーター、小山指導主事、吉田指導主事、県中体連事務局から清水事務局長の10名が参加をしました。

10日は、地域スポーツクラブ「アビススポーツクラブ」と学校と行政の関係を鳥實クラブマネジャーからレクチャーを受けました、義務教育学校として全国から注目されている「早来学園」を視察させていただきました。行政、学校、地域スポーツクラブが良い距離感で繋がっていることを感じました。

11日は、岩見沢市の北海道教育大学岩見沢キャンパスに訪問し、「SLDI スポーツクラブ」の活動について辻本氏からレクチャーを受けました。特に「ドイツ生まれのバルシューレー」(主にボールを使ったスポーツ遊び)の活動に興味集中しました。午後は、北海道教育大学岩見沢キャンパス長の山本教授から北海道における部活動地域展開の現状と課題についてレクチャーを受けました。

最終日となる12日は、北海道スポーツ協会を訪問。北海道スポーツ協会と部活動地域展開の関係と次世代を育成することについて、レクチャーを受け、その後、意見交換を行いました。

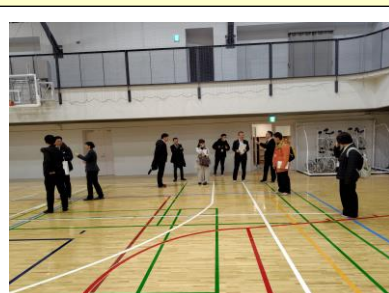
10日から11日にかけて本格的に雪が降る中でしたが、温かい気持ちで情報収集と意見交換ができました。



レクチャーする鳥實氏



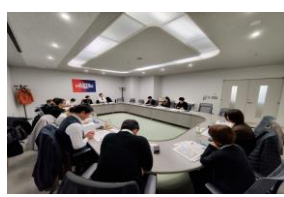
安平町で意見交換



早来学園の体育館



北海道教育大学岩見沢キャンパスにて 辻本氏からレクチャーと意見交換会 山本キャンパス長からレクチャー



北海道スポーツ協会 小松課長 熊耳氏、高橋氏から
レクチャーと意見交換会

雪が降る紅葉と時計台
最終日は晴れた中で紅葉と道庁